

国土交通省通知の誤りに伴う令和3年度再評価事業のB/C再算定について

(要旨)

令和4年2月、国土交通省から、河川事業等の資産評価単価（令和3年3月通知）に誤りがあり、訂正した旨のお知らせがあった。

県では、この訂正により事業便益（B）が変わる可能性のある、令和3年度の再評価事業（20事業）について、改めて事業便益の算出を行った。

その結果、8事業について、ごくわずかな事業便益の減少が確認されたが、費用便益比（B/C）は、令和3年度の事業評価監視委員会で報告した数値（有効数字 少数第1位）から変更はなかった。

県は、今回の経緯と結果について、県ホームページで公表する。

1 試算評価単価の訂正概要

- ・ 被害軽減額などの事業便益の算定に使用する「家屋1㎡当たり評価額」や「農作物価格」などの評価単価が、-9.77%～+5.62%の範囲で誤っており訂正した。
- ・ 国土交通省が所管する事業では、対象となる70事業のうち5事業で費用便益比（B/C）が0.1減少したと国から報告があった。

2 誤った通知（令和3年3月）を用いて事業便益を算定していた事業

- ・ 令和3年度再評価事業（29事業）のうち、河川、砂防関係、海岸事業の計20事業が対象となり、再算出を行った。

表 令和3年度再評価における対象事業一覧

	河川海岸	砂防関係	港湾	合計
対象事業数	2事業	15事業	3事業	20事業

3 対象事業における事業効果の再算出結果

- ・ 対象となる20事業について再算出を行った結果、令和3年度事業評価監視委員会で報告した費用便益比（B/C）から差は出なかった。
- ・ 再算出した便益、及び、費用便益比（B/C）は、別表のとおり。

別表 対象事業（令和3年度再評価）の再算定結果一覧

No	種別	箇所名	便益 (B) (百万円)		費用便益比 (B/C)		B/C 差
			誤	正	誤	正	
6	河川	太田川	22,878	<b>22,861</b>	12.2	12.2	±0.0
7	海岸	浜松篠原海岸	19,221	<b>19,215</b>	3.3	3.3	±0.0
8	砂防	河内諏訪沢	1,257	1,257	4.7	4.7	±0.0
9		御神川	764	764	3.8	3.8	±0.0
10		勘兵衛沢	6,439	6,439	15.0	15.0	±0.0
11		子ノ上沢	904	904	2.1	2.1	±0.0
12		芋堀寺沢	1,464	<b>1,462</b>	6.8	6.8	±0.0
13		土井戸南沢	918	<b>913</b>	5.7	5.7	±0.0
14		奥沢	500	500	2.2	2.2	±0.0
15		平野	1,046	1,046	5.1	5.1	±0.0
16		横田久命	2,569	2,569	3.4	3.4	±0.0
17		関の沢 No.2	1,636	1,636	3.5	3.5	±0.0
18		沓谷	5,961	<b>5,956</b>	12.3	12.3	±0.0
19		丸子井尻	6,207	6,207	16.2	16.2	±0.0
20		丸子赤目ヶ谷	5,602	5,602	9.5	9.5	±0.0
21		満水	1,086	1,086	4.3	4.3	±0.0
22		下平田	910	910	2.4	2.4	±0.0
23	港湾	御前崎港海岸	12,890	<b>12,888</b>	1.7	1.7	±0.0
24		土肥港海岸	21,516	<b>21,512</b>	7.8	7.8	±0.0
25		榛原港海岸	5,297	<b>5,296</b>	5.5	5.5	±0.0

※ 太字は変更のあった便益

※ No.は令和3年度再評価対象事業の番号